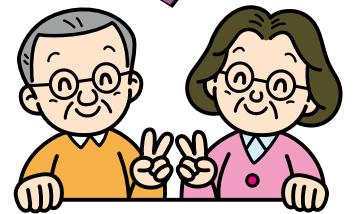


シルバー人材センター

会員の声



～シルバー人材センターに

感謝と希望の虹を観て～



(社)南九州市シルバー人材センター

林 川 久 雄 会員

シルバーの会員となり「本当に良かった」と思います。七月に入会し、九月から月に十日程度の勤務で、仕事内容は不法投棄の回収とパトロールです。当初は不十分な世間学と力でやっていけるのか不安でしたが、従事してみると先輩方や仲間の、親切で丁寧な指導と思いやりのある温かい掛け声に支えられ、元気に楽しくやっております。

特に休憩時間の会話はとても勉強になります。歯切れのよい機知の効いた言い回しで、明るくユーモアに富んだ会話を聞くたびに、思わず愉快になっている自分を発見します。年齢や経験の差を越えて、明朗で快活な表現にそれぞれの人生で蓄えた知恵の奥深さを感じる事ができます。その人となりを自然に屈託なく

表現できることは、実に素晴らしいことだと思います。

なお不法投棄については人の心の陰の部分だと思いますが、回収作業をしながら自分の過去を振り返りマナー違反を反省することもあります。さらに回収作業を終えた場所に、またゴミを捨ててあると聞くと、人の病む心の成せる行為かと、悲しくもあり切なさも覚えます。

しかし今では働ける喜びと共に、新しい目標も見つかりました。「自分をおおらかに表現できること」です。今後多く多くの会員との交流を深めることで、淡い光であろうと一隅を照らす手助けを、自分と地域のためシルバーの一員として頑張りたいと思います。

～シルバー人材センター

会員として～



(社)日置市シルバー人材センター

清 藤 藤 一 会員

平成十年三月定年をむかえ、暫くは家庭菜園・庭いじり、また友人知人と旅行に行く等して過ごしていましたが、ある日「シルバー人材センター」の広報チラシが自宅に届けられていました。不安ながら事務局に行き、説明を受け「自主・自立・共働・共助」の精神に共鳴し同年十月に入会致しました。

最初は公園の除草・刈払い後の片付け等でした。仲間と一緒に作業をすると楽しくやりがいが有り、働かせて貰っている事に喜びと感謝の気持ちで有り難く思う事でした。

しばらくすると、町役場からの自治会文書配布の仕事を受けることになりました。大雨の日、寒い日、雪の日、届くのを待ってられる自治会長さんの顔を思い浮かべながら大事な書類を雨に濡らす事なくまた事故なく早目に届ける努力をしてきたつもりです。

近年は就業機会創出員として、市内各戸・企業等を訪問し「シルバー人材センターだより」の配布を行い

ながらセンター事業の紹介や会員募集の案内役をさせていただいています。訪問先で気持ちよく挨拶され「シルバーさんにお願ひします。」言われた時、シルバー人材センターを良く理解し信用して下さっている事に感謝すると共に喜びと生きがいを感じ巡回訪問に更なる意欲が湧いてきます。訪問先での会話から私共会員として常に心掛けていなければならぬ事は、

- 一 就業先には早目に行く！
- 二 言葉使いはやさしく丁寧！
- 三 効率的な作業実施のため作業前ミーティングを実施する。
- 四 安全就業・作業効率上、機器の点検は常に行う。
- 五 後始末はきちんと行う。
- 六 「仕事をさせて貰っている」の気持ち。

・・・・等に考えます。
働けるシルバー人材センターがあり「働かせて貰っていること」に感謝し、今後も生きがいと意欲をもって頑張りたいものです。

一年を振り返って



(社)曾於市シルバー人材センター
海江田 さよ子 会員

定年退職後の一年余りは家で過ごすことが嬉しく、今迄出来なかった事や好きな事をして、それなりに充実した日々を過ごしていました。

しかしいつしか又仕事への意欲が湧きシルバー人材センターに行き、説明を受けそれまで抱えていた不安も少し軽くなり登録しました。

初めての仕事は、街路樹の剪定の後片付けでした。

それから白菜収穫も自分にできる心配でしたが、皆さんに親切にしてみたいながら慣れるまで時間がかかりましたが、終わるころにやっと上手になった気がしました。

満開の桜が散り始めるころに、大隅運動公園の環境整備の仕事が決まりました。

桜の花びらのじゅうたんで埋め尽くされて、とてもきれいだったことが思い出されます。

いろいろな種類の花があり、季節

になると見事ですので、多くの方に見てほしいほどです。

公園の仕事が休みの日には、農協の育苗センターの甘藷の苗取りに行きました。同級生の友達と一緒に励みになりました。

この夏、猛暑の中で外での作業は大変でしたが、先輩の助けと思いやりを支えられて、乗り切ることができたと思います。

公園や研修室の利用者に「きれいにしていますね」と声がかかりますと、やっぱり嬉しいですね・・・

黄色に色づいたイチヨウがハラハラと舞い、深まる秋を感じながら落ち葉を集めています。

何もかもが初めての経験でしたが、得られるものは多く、触れ合う機会が増えたことで心豊かになった気がします。運動公園を訪れる皆さんが心地よく利用できる環境づくりに努めたいと思います。

南 日 本 新 聞

(平成22年12月17日掲載)



「シルバー」の

役割を痛感

私は、県シルバー事業活

性化推進員の仕事を授かり、不安と希望を持ちながら働くことになりました。

6ヶ月間ではありましたがその任務を終え今はホッとしています。

いちき串木野市内を駆回り、シルバーの仕事を説明し事業を啓発してきました。

いろいろな人との会話、出会いの中からシルバー人材へのご意見などを聞きました。シルバー人材センターは、高齢者でないときかないサービスを幅広く提供し、私どもの生活に欠かすことのできない組織であります。さらに行政の補完的かつ分身的な役割を果た

していると思います。

協働共生の街づくりの言葉聞きますが、シルバー人材センターがその先端を走り、地域社会に不可欠な組織として貢献されていることは間違いないと思います。共に力をあわせて、互いに助け合うというセンターの理念は、日本人特有の農耕型民族の象徴とも言えると思います。シルバー人材センターの存在価値をもっと住民に理解してもらい、支え育てていくことが私ども高齢者の役割であると痛感しました。

(いちき串木野市)

無職 橋之口 博繁 (70)